



「遠野スタイル」 によるまちづくり 2013

岩手県遠野市

遠野市の概要

位置



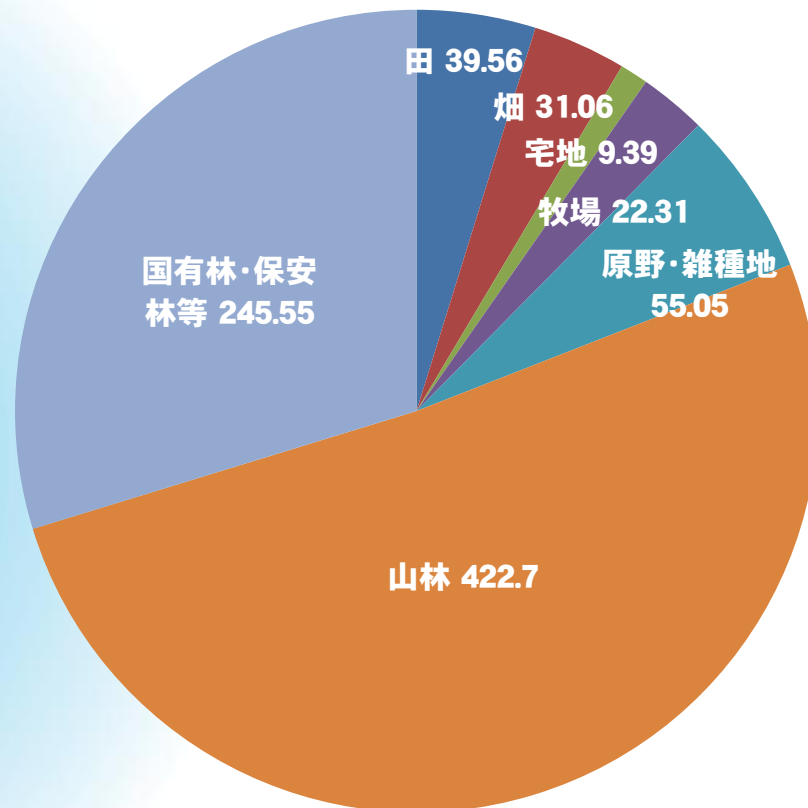
遠野市の概要

位置



土地利用

● 面積：825.62km²



■ 田 ■ 畑 ■ 宅地 ■ 牧場 ■ 原野・雑種地 ■ 山林 ■ 国有林・保安林等

遠野市の概要

位置

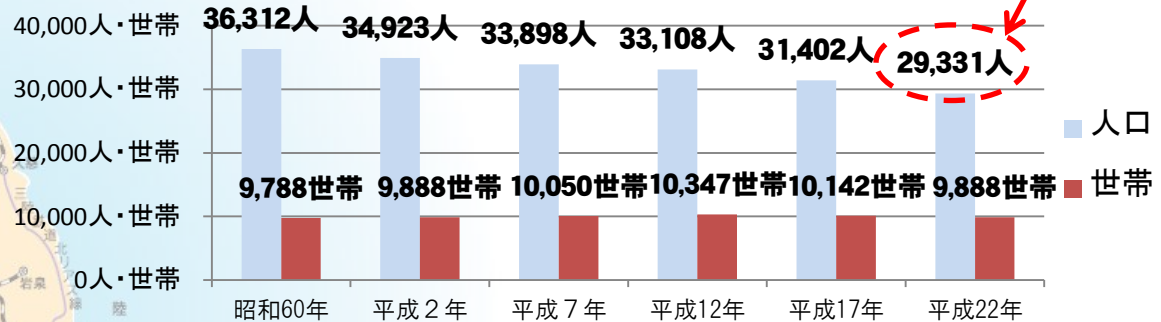


人口構造

- 人口：29,331人 (H22国勢調査)
- 世帯数：9,888世帯

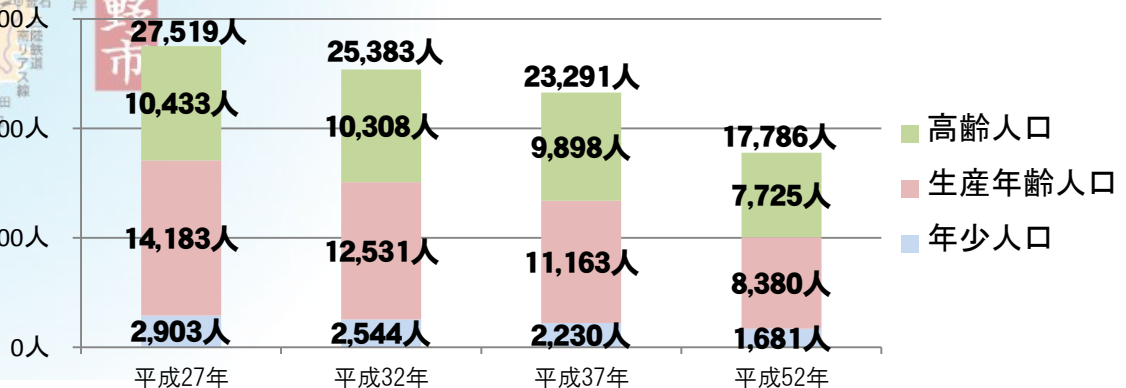
高齢人口 10,084人
生産年齢人口 15,914人
年少人口 3,333人

推移



人口の見通し

(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」[平成25年3月推計]より)



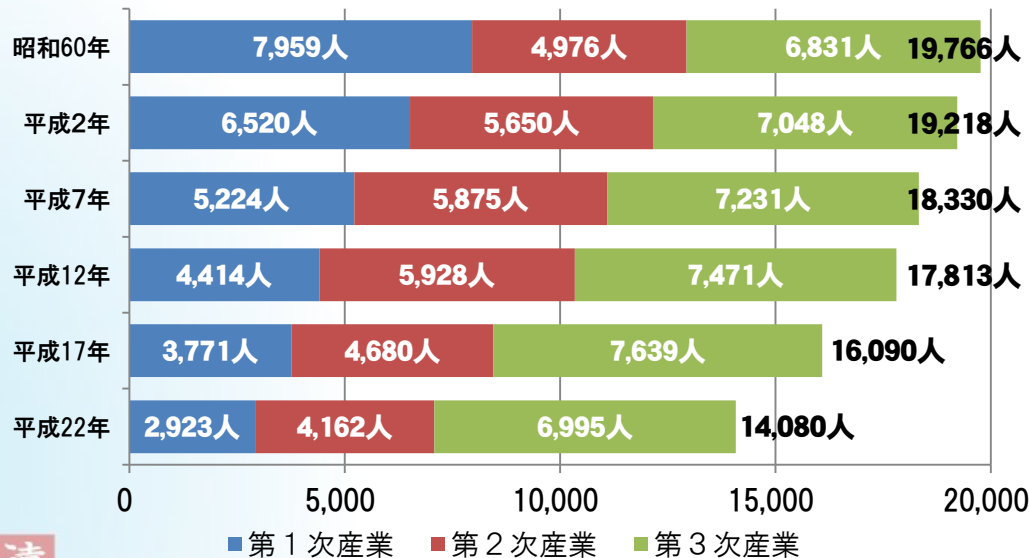
遠野市の概要

位置

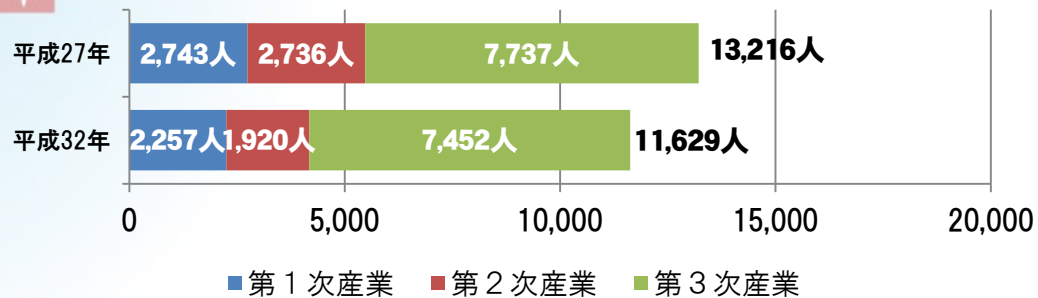


就業人口

推移



見通し



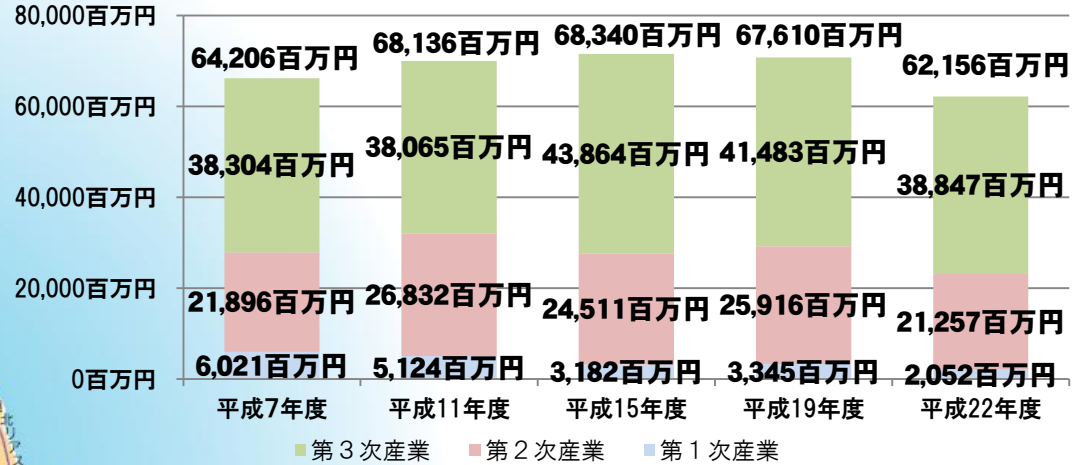
遠野市の概要

位置

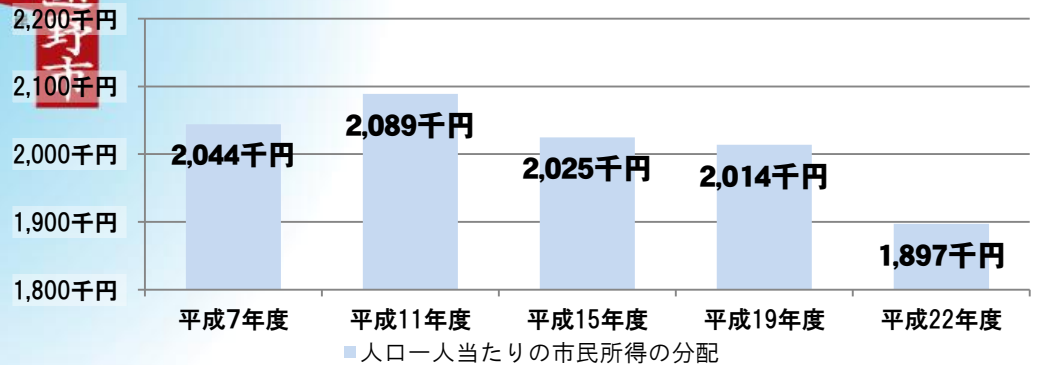


市民所得

市内純生産の推移



人口一人当たりの市民所得の推移

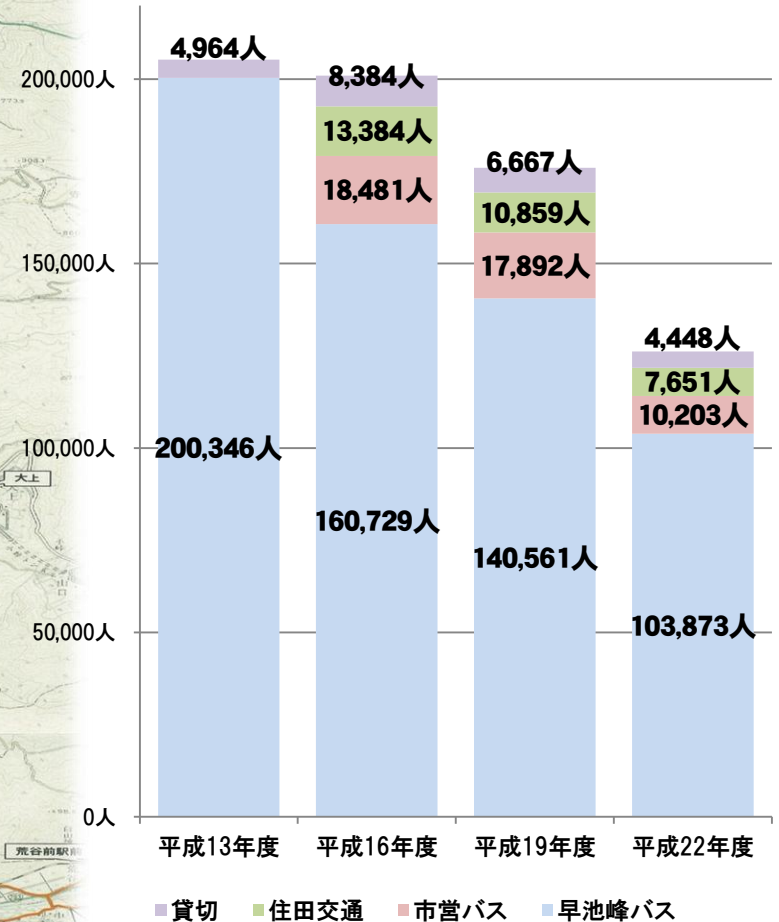


遠野市の概要

交通



バスの利用状況

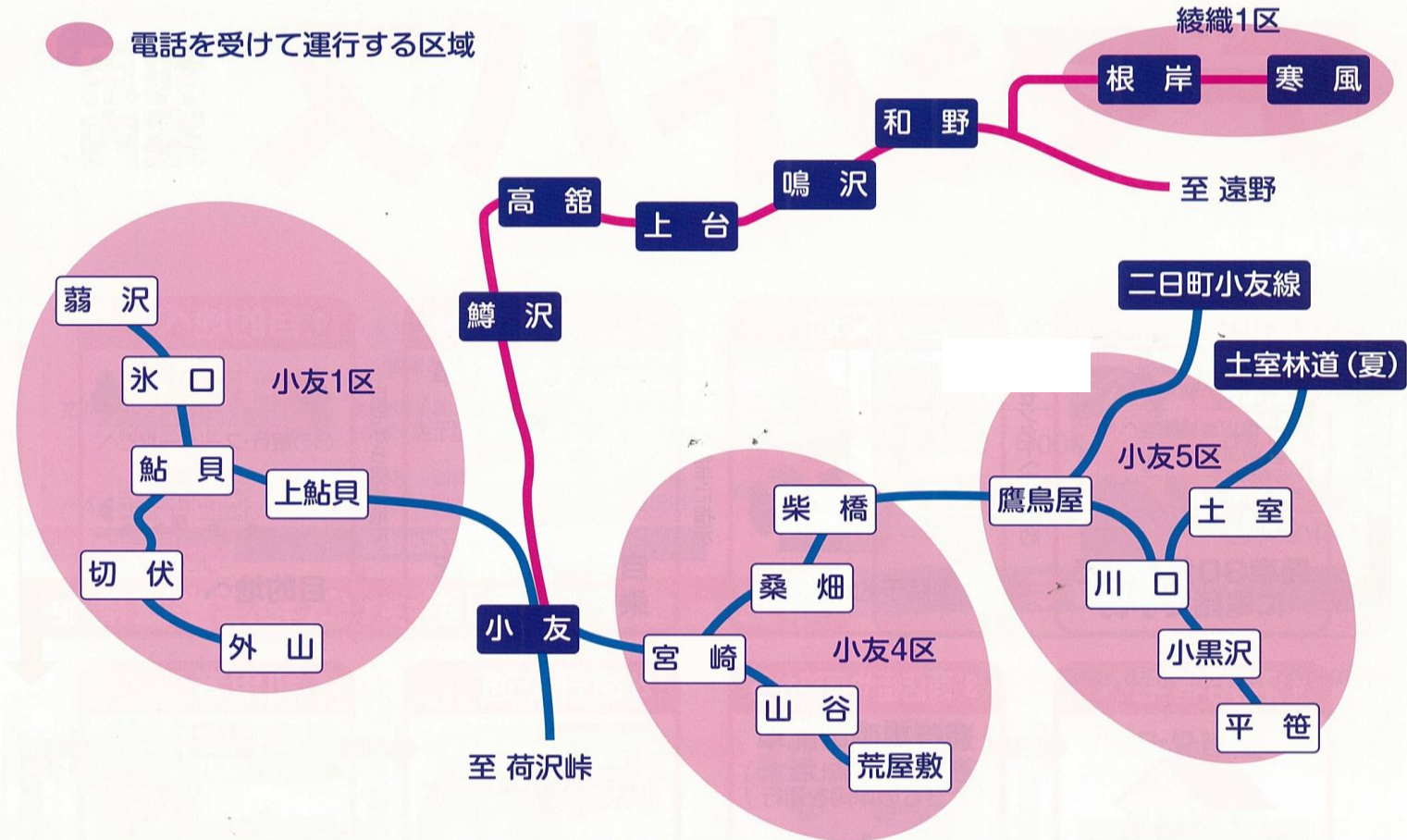


遠野市の概要

交通

小友・綾織地区予約乗合バス運行エリア

● 電話を受けて運行する区域

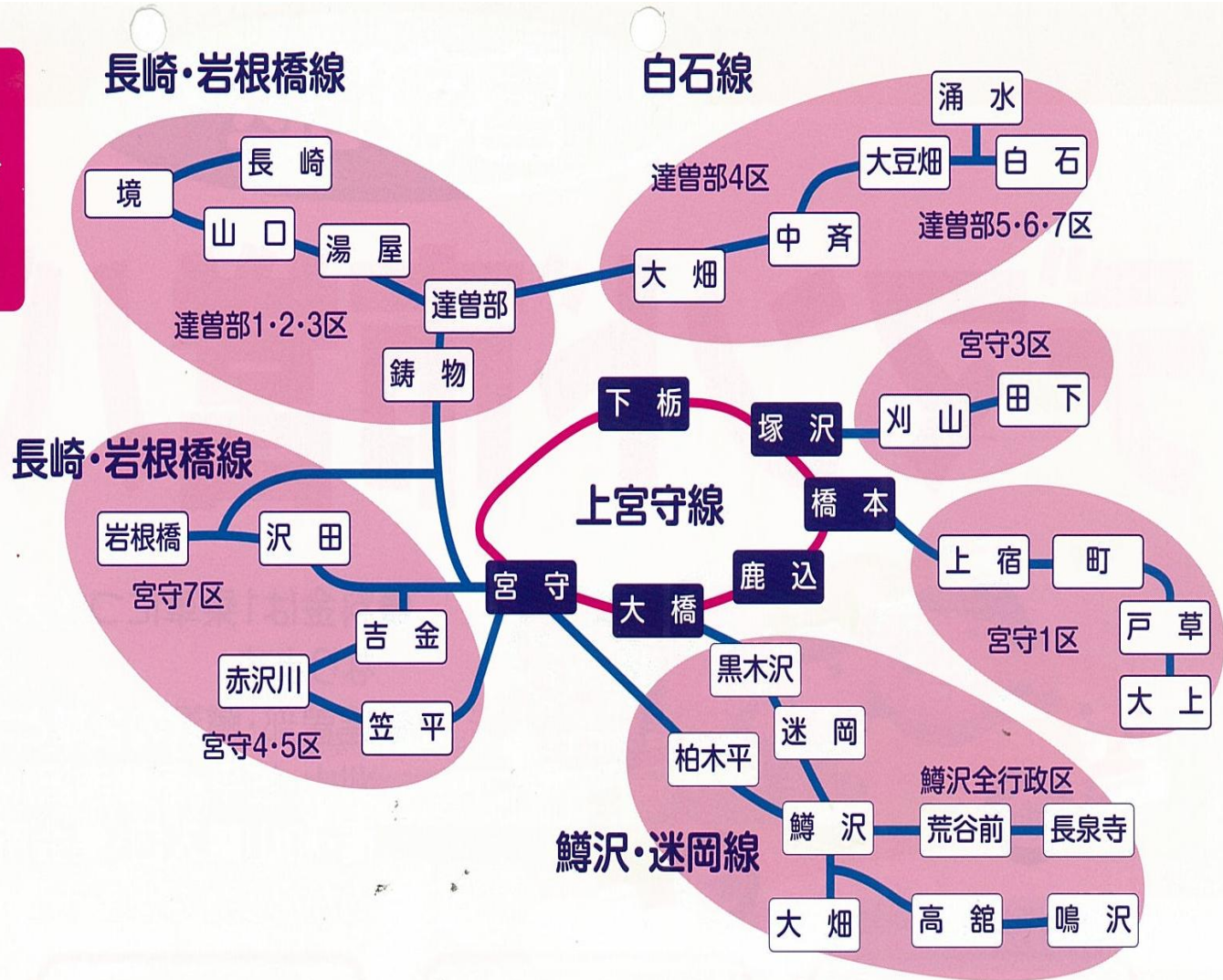


遠野市の概要

交通

予約市営バス 運行エリア

- 電話予約運行地区
- 予約運行路線
- 主な予約対応集落





進化し続ける “まちづくり”
地域総合力 で **元気再生**



遠野スタイル2013

遠野市の概要

情報通信

	旧遠野市エリア	宮守エリア
導入事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業（総務省） ・田園地域マルチメディアモデル整備事業（農林水産省） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報通信基盤整備交付金事業（総務省） ・元気な地域づくり交付金事業（農林水産省）
局舎等	局舎610㎡	サブセンター3カ所
伝送路	光ケーブル 181km 同軸ケーブル 559km	光ケーブル 167km
伝送容量	770MHz	770MHz
中継増幅器数	1,269台	—
電源供給器数	264台	—
共添架柱数	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力(株) 7,873本 ・東日本電信電話(株) 2,868本 ・自営柱 927本 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力(株) 2,444本 ・東日本電信電話(株) 1,078本 ・自営柱 82本

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
ケーブルテレビ利用者数	6,403件 (64.6%)	6,609件 (66.6%)	6,749件 (68.1%)	6,896件 (69.5%)	8,361件 (81.1%)
インターネット利用者数	2,009件 (20.3%)	2,134件 (21.5%)	2,223件 (22.4%)	2,335件 (23.5%)	2,601件 (25.2%)

遠野市の概要

財政状況

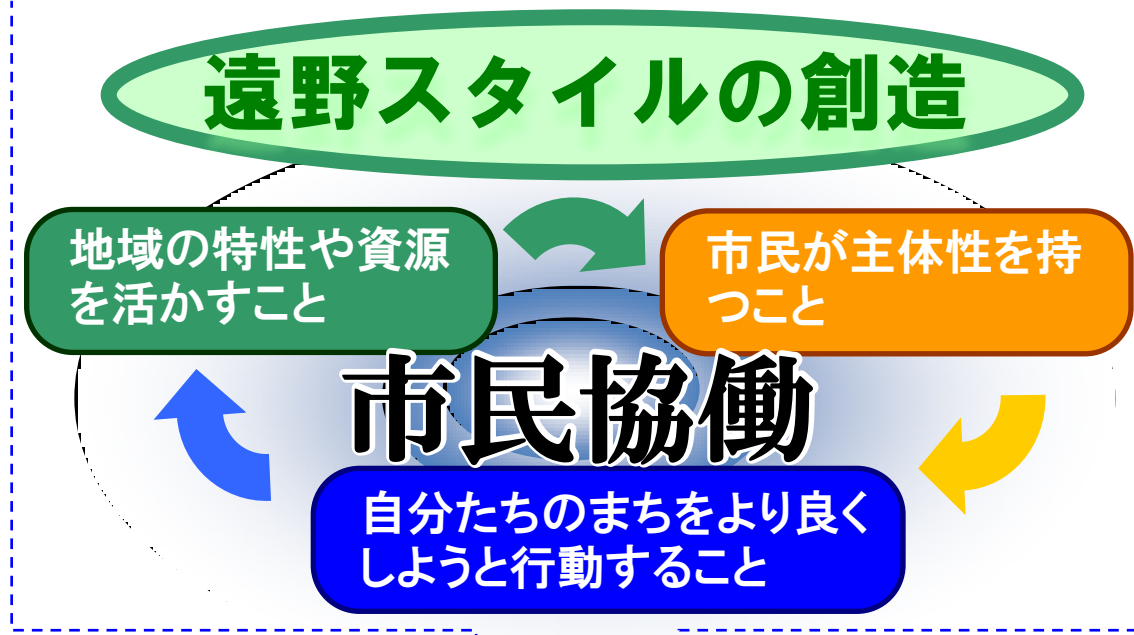
区分	平成17年度	平成20年度	平成23年度
歳入総額	192億 7,100万円	174億 2,600万円	225億 9,000万円
歳出総額	187億 1,400万円	168億 4,900万円	213億 6,800万円
繰越財源	2億 3,600万円	2億 7,600万円	6億 1,200万円
実質収支	3億 2,100万円	3億 100万円	6億 1,000万円
地方債残高	206億 3,400万円	182億 5,100万円	196億 8,700万円
財政力	0.25	0.28	0.25
経常収支比率	86.3%	85.6%	80.6%

遠野市の概要

総合力を結集し
進化し続ける
「まちづくり」

国や県ばかりに頼らず基礎自治体としてできることに挑戦し続けることこそ『遠野スタイル』のまちづくり

- 少ない予算 → 知恵と工夫を結集
- 人員不足 → 新たな公と市民協働
- 社会資本整備の遅れ → 豊かな自然と環境先進地
- 人口減少 → 交流人口の拡大



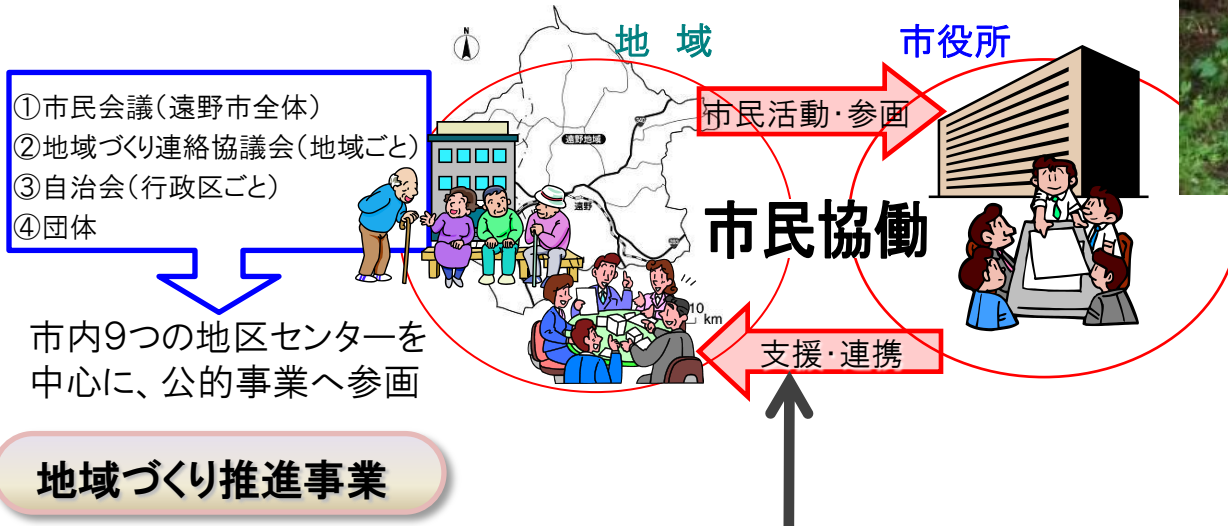
● 遠野市の基本理念

永遠の日本のふるさと遠野

- 遠野スタイル
5つの大綱
 - 自然を愛し共生するまちづくり
 - 健やかに人が輝くまちづくり
 - 活力を創意で築くまちづくり
 - ふるさとの文化を育むまちづくり
 - みんなで考え支えあうまちづくり

市民協働によるまちづくり指針

35年以上続く市民センターの基本理念を踏まえ、
「遠野スタイル」の創造に向けた新遠野市のガイドライン



遠野市内のあらゆる団体・組織のあらゆる事業が事業費支援の対象へ

H19年度 1,600万円 ⇒ H21年度 1,800万円 ⇒ H23年度 1,810万円



～ 多様な個人や団体の豊かな発想は、
遠野市の活性化の原動力 ～



市民と共に築く

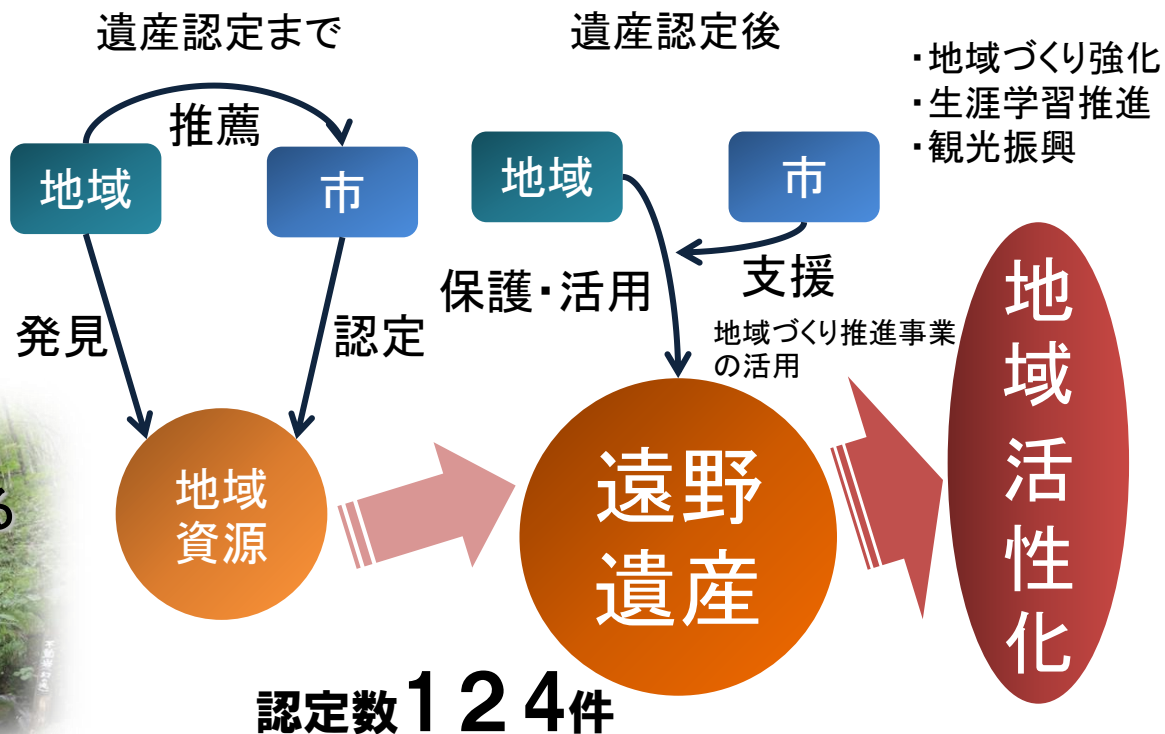
地域の熱意と汗

手づくりで深まる

地域の絆

遠野遺産 認定制度

地域の文化を地域で守る
市は保護活動を支援する
遠野の魅力がますます高まる

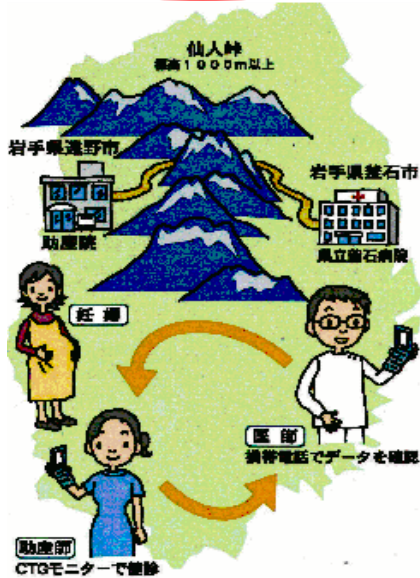


事例一 認定第78号 羽黒堂と羽黒岩 綾織町1区自治会
伝説が残る文化遺産を地域みんなで守る！



遠野市助産院
ねっと・ゆりかご

地元の助産師と遠隔健診で
妊婦さんをサポート



少子

化に挑む

安心して

子どもを産み育てる

環境づくり

すこやか電子手帳

ゆりかごから天国まで…
電子手帳が健康を見守る

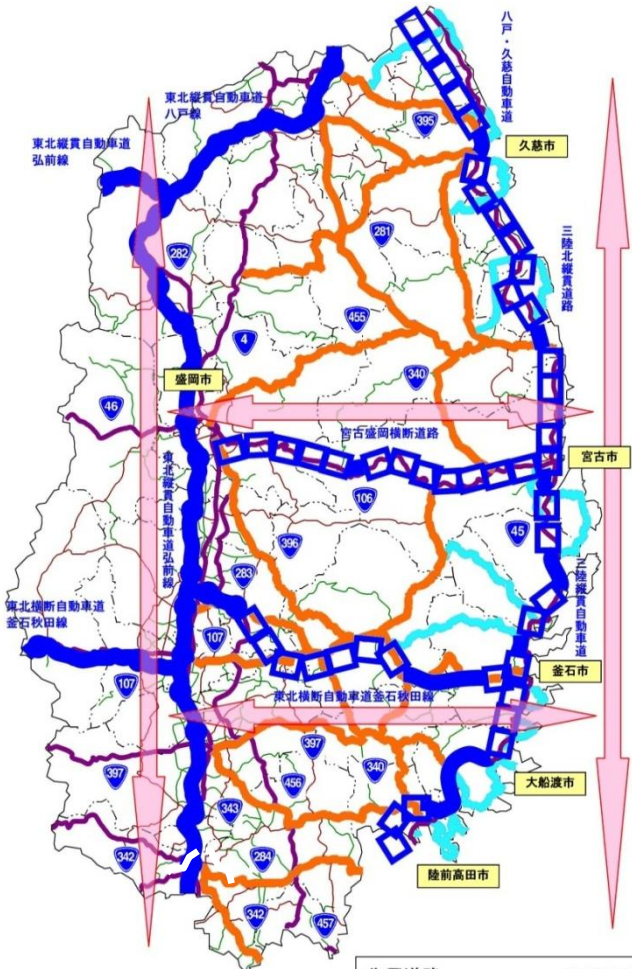


自分の健康情報を
PCや携帯電話で
確認・活用



持続可能な社会を作る広域連携 ○命をつなぎ、産業を活性化させる道路

復興道路・復興支援道路整備



復興道路	復興支援道路
■ : 供用済区間	■ : 復興支援区間
□□ : 未供用区間	■ : 復興関連道路

○遠野IC設置(H27完成予定)

- ・ 高速アクセスの実現
平成24年11月25日宮守IC完成
- ・ 沿岸と内陸を結ぶ緊急路
- ・ 新直轄方式により**料金無料**



復興道路

東北横断自動車道釜石秋田線
宮守～東和 (H24.11月供用済み)

○立丸峠トンネル整備

- ・ 復興の早急化
- ・ アクセス改善(遠野かっぱロード)

○仙人第2トンネル・上郷バイパス

- ・ 平成19年3月供用開始
(釜石遠野間約30分)

復興支援道路
一般国道340号 土淵バイパス
(H24.7月 一部供用済み)



持続可能な学校運営を考える

遠野西中学校



※現宮守中学校



小友中学校

宮守中学校

遠野中学校



※現遠野中学校



綾織中学校

附馬牛中学校

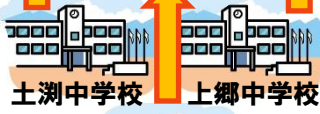


遠野中学校

遠野東中学校



※現青笹中学校



土淵中学校

上郷中学校



青笹中学校

【遠野市立各中学校の再編】

- ・8-5=3の可能性
- ・少子化に伴い、市内8校ある中学校を3校に統合する。(平成25年4月開校)
- ・子どもたちが勉強や部活動で「切磋琢磨できる環境」を構築。特に、多種の部活動から自分にあった活動にチャレンジできる環境を整備。
- ・教育環境の充実と強化

【施設整備基本理念】

心と体の健康づくりと夢を育むおいしい給食

～食育の推進による健康で豊かな暮らしの創出と

安全安心な地域資源の活用による活気あふれるまちづくり～



少子高齢化
への対応

地産地消率
の向上

食育の推進

防災に強い
まちづくり

既存事業の枠を超え新たな発想

少子高齢化の今の時代
20年後30年後を見据え整備

学校給食

食育推進
地産地消

総合給食

炊出機能

総合食育センター(H25.4完成)

遠野市の魅力

四季の風景と

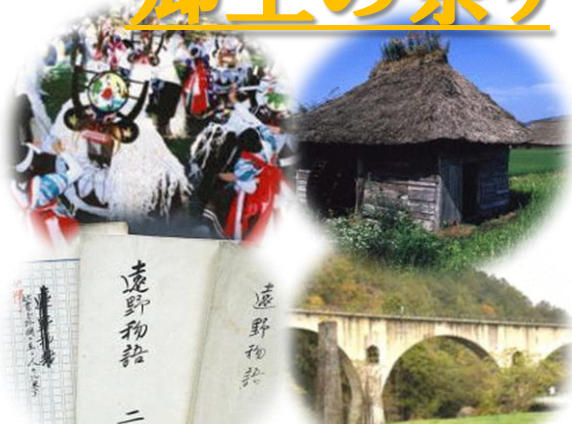
郷土の祭り

春



遠野さくらまつり

遠野南部氏入部行列や、しし踊り、さんさ踊りなどの郷土芸能共演会が見ものです。



自然と共生する暮らしの中で
培われてきた風習や祭り...



遠野夢花火

遠野の夜空を彩る花火。盆地に響き渡る花火の音は迫力があります。

夏



秋



日本のふるさと遠野まつり

秋の実りに感謝し、南部ばやしやしし踊りなどの郷土芸能が一斉に乱舞。遠野市最大のお祭りです。

遠野どべっこ祭り

昔懐かしい“どぶろく”を再現。茅葺き屋根の曲り家で、心も体も温まります。

冬



SL停車場プロジェクト推進事業

○SLプロジェクトを地域に「活かす・つなぐ」

- ・釜石線SL銀河鉄道で内陸と沿岸地域を「つなぐ」。
- ・中心市街地観光施設(とおの物語の館等)を「活かす」。
- ・郊外の主要観光施設を「活かす」。
- ・道の駅みやもり、道の駅遠野風の丘を「活かす」。
- ・全国「道の駅」連絡会の全国ネットワークを「活かす・つなぐ」。
- ・宮沢賢治・佐々木喜善とグリムを「活かす・つなぐ」。
- ・友好都市等との連携交流の絆を「活かす」。
- ・姉妹都市(サレルノ市)交流30周年を「活かす」。

遠野の未来が見える
めがねプロジェクト

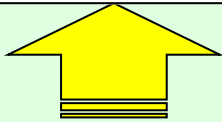
宮守町
宮守駅

中心市街地
遠野駅

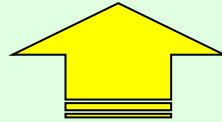
生まれかわる駅前・中心市街地



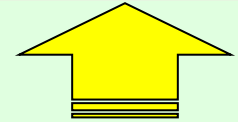
施工後（3階建に減築）
まちおこしセンター「あすもあ遠野」



施工後
観光交流センター「旅の蔵遠野」



施工後
「遠野文化研究センター」



施工前（5階建）
※旧JA遠野本店



施工前
※日本通運遠野



施工前
※旧北日本銀行遠野支店

先人が残した歴史は
地域の大切な財産

古くて新しいものは光り輝き
未来を明るく照らす

「人と人」、「地域と地域」
を結ぶ「縁 と 絆」

歴史・文化・風土・自然
「場の力」こそ地域の底力

遠野物語による日本民俗学の発祥



柳田國男 1875～1962

日本民俗学の創始者。明治42年、大正9年、大正15年と3度遠野を訪れている。今年
は没後50年の年。



遠野物語

明治43年(1910年) 6月刊行

遠野に伝わる伝説や世間話を中心に全119話収録



佐々木喜善 1886～1933

遠野出身の民俗学者。日本のグリムと呼ばれ、多くの昔話集を遺している。



駅前を出迎える旅の蔵遠野



新緑が映える河童淵



黄金の稲穂に囲まれた荒神神社



雪化粧のめがね橋